

Close up だて



「第40回伊達武者まつり」 PRポスターデザインコンクール最優秀賞受賞

たか せ
高瀬ひとみさん
(神奈川県川崎市)

伊

達市の夏の一大イベント「伊達武者まつり」では、華やかな武者絵の山車が連なる「山車パレード」や甲冑を身にまとった勇壮な騎馬武者による「武者行列」が行われます。どちらも道内では珍しいイベントのひとつではないでしょうか。

そして、40回を迎えたこのまつりをお知らせする「顔」のポスターは、今年も公募作品の中から選ばれました。

全国から募集を受け付け、応募作品は1週間カルチャーセンターに掲示。市民の皆さんや実行委員会で審査（投票）した結果、19点の作品のうち、最優秀賞を受賞したのが神奈川県川崎市在住の高瀬ひとみさんです。

「昨年応募したことで今年は伊達市から案内をいただいた。それではと、伊達成実をモデルに武士



入賞したポスターを持つ高瀬さん

の力強さを表現した作品を応募しました」と作品のコンセプトを話してくれました。

人々の目を惹きつける迫力ある作品。皆さんの目にはどう映りましたか。

そんな高瀬さんと伊達市との縁は5年程前に始まります。

「伊達政宗を調べていたら、偶然、成実を見つけた。政宗の家臣でもなく、大名でもない。不思議な立場にいた成実の魅力を感じました。そもそも伊達市の存在を知ったのも、成実を調べていて。伊達市に飾られている成実の甲冑が見たいと連絡をしたのがきっかけなんです」と成実への熱い思いも語ってくれました。

「伊達」が結んだ不思議な縁。伊達市を応援してくださいる方がまたひとり増えたようです。



昨年の武者まつりには、ご自身作の人形を提供してくれました

表紙のはなし



8月2日・3日、第40回伊達武者まつりが盛大に行われ、市内外から多くの方が来場しました。今年の目玉は、6年ぶりに復活した「武者行列」。出発前の馬をパチリ。表情に「これから甲冑を身に付けた武者を乗せて市内を巡り、おまつり会場まで歩いていくぞ!」という気合いが感じられました。

楽 画 記

■今年の武者まつりも天候に恵まれ、暑い2日間となりました。両日取材に出ている私は、日焼け対策を全くしなかった結果、顔と腕が真っ赤に。シャワーに入るのも一苦労で、寝返りを打つたびに目を覚ましたり…。ひどい目に遭いました。来年は帽子に日焼け止めクリームを塗り、完全防備で挑みたいと思います。(た)

■今年の武者まつりは暑いうえに銭がすごかった。山車のライトに集まる集まる…山車の上で太鼓をたたいたり歌ったりしていた方のご苦労を思うと、ただ楽しんで自分が申し訳なく感じます。広報広聴係の二人も日に焼けながら2日間のまつりを追いかけてきました。今月号でその一部をご紹介しますのでご覧ください。(や)

■今年40回を迎えた武者まつり。6年ぶりに復活した武者行列の写真を撮りました。頭上からの太陽の熱と舗装された道路が反射する熱とで両面焼きグリルのような中では日焼け止めはあまり役にたたず…。昔から日差しはこんなに強かったでしょうか。関係者の皆さん、ご覧になった皆さんお疲れさまでした。(と)